

# まちの話だい

## 5月1日 | 茶業の更なる発展を祈念

八十八夜を前に牧之原公園で、茶祖・栄西禅師の遺徳をしのび、茶業のさらなる発展を祈願する「茶感謝祭」が開かれました。

茶業関係者ら約80人が出席し、代表者が立像前の祭壇に新茶を供えました。式典後には、かなや茶娘大使と五和幼稚園の年長女児23人が、茶娘姿で登場。「ちゃつきり節」と「金谷音頭」の2曲を笑顔で踊り、式典に花を添えました。



## 5月31日 | 海岸の美化は河川敷から

地域のボランティア団体やスポーツ少年団など1,000人以上が参加して、大井川兩岸の河川敷を中心に大規模なごみ拾いが行われました。

この「河川・海岸統一美化運動」は、大雨や台風で増水した河川敷から流れ出たごみが、海岸に漂着することを防ぐ目的で、流域市町も連携して実施。同運動を通して参加者一人一人が、河川愛護や環境美化の意識を高めました。



## トピックス

### 農林水産大臣賞に輝く

5月28日、島田市農業委員会が日比谷公会堂（東京）で開催された「第7回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰」にて、最高賞の「農林水産大臣賞」の表彰を受けました。

同委員会は、事務局に耕作放棄地再生活動をけん引する「農地相談員」を置き、多彩な活動を展開。特に、市内の担い手3法人への耕作放棄地を含む農地あっせんや、各地区の農業委員の創意工夫による着実な再生活動が、大きな成果を上げている点で高く評価されました。





## 5月27日 | 仲良しだけど負けないよ

第三保育園で「こどもの日」にちなんで「すもう大会」が繰り広げられました。

参加した2歳児以上の74人の園児たちは、気合いの表情で土俵入り。行司の掛け声で力一杯ぶつかり合うと、本場の相撲に負けないくらい真剣な勝負を繰り広げました。この取り組みで園児たちは、勝ち負けのうれしさ悔しさを体感し、友達を応援する気持ちを養いました。

## 5月12日 | 自家発電をみんなで実感

児童たちが環境問題を楽しく学ぶ「アース・キッズチャレンジ」が、本年度の県内第1弾として、島田第二小学校で開かれました。

5年生59人は、地球環境の変化に関するミニ講座を受けた後、仕組みやごみの分別ルールを学習。自転車を使った自家発電体験では、児童は一生懸命ペダルをこぎ、電球の点灯やラジオから流れる音で、発電を実感しました。



## 5月1日 | 看護の道への決意を新たに

市立看護専門学校で、生徒が看護師としての飛躍を誓う「看護を語る会」が開催されました。

基礎学習を終えた2年生37人が、理想の看護像を発表。続いて、壇上のナイチンゲール像から自分の持つろうそくに採火し「目指す看護を実現するため、向上心・探究心・他者への共感を常に持ち、日々の生活や経験から学び続けます」と誓いの言葉を唱和しました。